

ミシシッピ州立大学獣医学部
The Mississippi State University College of Veterinary Medicine, MSU-CVM
入学案内

入学希望者のための情報

ミシシッピ州立大学獣医学部 (the Mississippi State University College of Veterinary Medicine, MSU-CVM)は、獣医学博士号の承認機関であるアメリカ獣医師会 (AVMA)の教育審議会が規定した全ての条件を満たしており、アメリカ獣医師会から全面的に認可されています。獣医学教育を受ける前提としての必修科目を修了した出願者は、入学手続きの一部として選考委員会による面接を受けることとなります。大学への入学を予定している出願者は春学期以前に必修科目を修了しておく必要があります。学業優秀であることは必須ですが、学業以外の要素もまた最終選考では重要となります。

合格通知書が送付された出願者は、授業への登録料として500ドルの保証金を納入してください。この保証金は春学期の授業料として充当されるので、返還されません。授業の開始は5月下旬あるいは6月上旬からとなります。

注：ミシシッピ州立大学獣医学部では、毎年5月下旬から新年度が始まります。本大学への入学を予定している学生は、入学前に全ての必修科目を修了していなければなりません(即ち、2000年5月に入学予定の出願者はそれまでに全必修科目が修了していれば、1999年秋期講座および2000年春期講座に登録が可能です)。

大学の基本方針

本校の理念

全米で認可されている獣医大学は27校に過ぎず、その中の一校として本獣医学部が果たしている独自の役割と業績に誇りを持っています。そうした名誉ある大学としてミシシッピ州民に対して誠実な態度で接し、あらゆる部門において優れた業績を残すように努める義務があると考えています。職業理念、個人の才能、リーダーシップ、知識欲などに象徴される積極的な労働環境は、私たちが共に協力しあうことによってのみ創り出すことができるものです。

本校がミシシッピ州にとって欠くことのできない財産となり、地域、国内にとどまらず国際的に評価されるには、

- ・優れた研究プログラムと動物の重要な病気および公衆衛生関連の問題に取り組む診断部門があること。
- ・地元獣医師が患者を紹介するための優れた専門病院となり、また動物の健康に関して明確なプログラムを確立すること。
- ・獣医教育の分野において、変動する健康問題に対して挑戦していく柔軟性を持った指

導者となること。

このような特質を生かし、また職員、学生、大学関係者らが一致団結して職務を忠実に果たすことにより、最高の教師、職員、学生が集う大学となるでしょう。

大学教育

教育理念

ミシシッピー州立大学獣医学部の卒業生は、有能かつ社会に対する責任を担った獣医師として活動するために必要な知識、技術、行動、態度を身につけます。卒業生は学習を継続して専門知識を深め、最先端の科学と高度の技術を維持することができます。

カリキュラムの目的

ミシシッピー州立大学獣医学部では、学生に次のような学習機会を提供するためにカリキュラムを組んでいます。

- 広範な獣医学の分野において、獣医師として開業するために必要な専門知識、技術、行動、態度の基礎を築くこと。
- 選択した専門分野の中で直面する諸問題に対して、これまでに学んだ知識、技術、行動、態度の基礎を倫理的な方法で応用すること。

業務部門

会計課

大学の内外で発生する売買契約や支払いは全て会計課で集中的に処理しています。年間予算、残高、財源の収支比率などの集計報告は、学部内の全講座に配布されます。これらの業務は大学の財務システムである SCT パナーが関与しており、獣医学部では変換処理をオンライン化するためのモデル校となっています。これらの業務に加えて、外部機関である AVMA、AAVMC から独自に提出を求められた各種の報告書、また MVMA による認可の継続に必要な報告書などに使用されたデータの抜粋、収集、編集を行っています。

農林交流

農林交流事務局(OAC)は農学、林学、獣医学の各学部間における情報交換の調整と促進を主要な役割とし、その中心的存在として機能しています。OAC は教育分野の資料を多く作成していますが、農学系の学部やミシシッピー州立大学の概要を広めるために一般向けに企画した資料もあります。OAC は大きく分けて、電子メディア、グラフィックデザイン、写真、印刷の4部門からできています。事務局本部はポストイクステンションビル1階にありますが、医学用写真部は獣医学部利用者のためにワイズセンターにあります。

補助管理部

Ancillary service は獣医学部のためのサービス部門で、備品記録課、購買課、在庫管理課、郵便課、輸送課の 5 課から構成されています。

施設管理部

獣医学部の設備は、学内の行政補助機関の一部門である施設管理部によって維持されています。

LARC

獣医学部で飼育される全ての動物を対象とした動物飼育（管理）の基本は LARC で行われています。LARC は実験動物の使用計画が基準を満たしているかどうかを最初に照合し、その後に入荷する全ての動物に対する責任も担っています。また、獣医学部における動物の使用方法が地域、州および連邦の指針や規則に従っているかどうかの確認をしています。

特別事業課

特別事業課は獣医学の公開講座、継続教育、広報活動、宣伝、開発など、社会との関わりを調整・管理する大学の窓口となっています。

大学の一般公開日

獣医学部の見学は必ず予約して下さい。月曜日から金曜日まで、個人ないし 40 名までのグループを受け付けています。試験日や他の行事と重なってお断りする場合がありますので、見学を予定されている方は下記までご連絡下さい。

研究

農業はミシシッピー州の主要産業であり、農業生産高の約 43%は畜産物で占められています。また、少なくともミシシッピー州民の約 60%がコンパニオン・アニマルを所有していると言われています。コンパニオン・アニマルにはイヌ、ネコ、馬など、さまざまなペットが含まれています。ミシシッピー州立大学獣医学部は、獣医学の分野において国際的な評価を受けると同時に世界でも有数の大学となるように、との要請を州議会から受けています。このように優れた大学であろうとする努力は大学の存在意義と活動の源となり、また大学にとって重要な目的となっています。

プログラムについての情報

獣医学部では、研究プログラムと大学院教育のための学科プログラムは共同で行われています。

資料グループ

獣医学部では、近縁の動物種ごとに教職員がグループを作って仕事をしますが、各動物種間で使用する資材の必要性などを検討するために定期的に会合を持つことになります。次の組織図に示すように職員は鳥類、魚類、ほ乳類の医療グループに分かれて仕事にあたります。さらに、人の疾患モデルとして動物を扱う生物医学研究センターと環境衛生センターがあります。

財源

研究を助成するための財源としては、州の歳出予算、ミシシッピ農林試験場および連邦政府からの歳出予算があります。研究に対する財政援助は主として連邦政府の研究助成金と産業界からの資金援助によって賄われています。

指針

本学部の研究プログラムでは、研究に用いる動物に関してあらゆる規定を設けています。本学部は実験動物取り扱い承認委員会によって承認されています。実験計画には全て正当な理由がなければならず、また所属している動物管理および使用委員会に承認されなければなりません。研究認可に先立ち、スポンサーと大学との間で合意が成立しなければなりません。これらの合意は全てミシシッピ州立大学公認の委員会による承認が必要になります。スポンサーの許可が得られた時に、研究に関わる設備および管理上の諸経費（間接費）が充当されます。研究の継続期間中は、連邦政府および大学の指針は厳守されます。

最近の研究成果

近年得られた研究成果については、年報の最新号に詳しく記載されています。年報には、研究成果について更に詳しい情報を得たい方のために、各々の研究担当者とその連絡先である電話番号が明記されています。

年報のコピーをご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。

Dr. A. Jerald Ainsworth
獣医学研究所所長

電話 (662)325-1205
Fax (662)-325-1031
e-mail ainsworth@cvm.msstate.edu

宛先
研究プログラム係
獣医学部、P.O. Box 9825, Mississippi State, MS 39762-9825

大学院教育

大学院における獣医科学教育課程は、従来の修士あるいは博士などの学位取得につながるような高等教育と研究の機会を学生に提供し、動物の健康衛生の分野での指導者を育成することを目的としています。さらに、魚、鶏、牛、豚など食肉用動物の獣医学に関わる産業を学びたい学生には論文のない修士課程コースを選択することもできます。

大学院生は MSU（ミシシッピ州立大学）キャンパス内で大学院の教授陣による指導の下に基礎および応用研究のプロジェクトに携わることになります。大学院の研究プロジェクトの多くは MSU キャンパスで行われていますが、大学院生はなまず養殖の中心地であるストーンヴィルや養鶏の中心地のフォレストなどのキャンパス以外の場所において、自らの才能や専門技術、利用できるチャンスを積極的に活用するように奨励されます。

詳細な情報の問い合わせは、Dr. Larry Hanson 電話 (662)325-1417 ファクス (662)325-1031 までお願いいたします。

水産獣医学における大学院教育

獣医学部では水産獣医学を学ぶために独自の教育機会を提供しています。MSU の獣医学部は水産獣医学のインターン制度を有する唯一の大学となっています。

本学部の水産グループは 12 人の教授から構成され、診療サービスや研究を通じてミシシッピの水産養殖の必要性を訴えています。このような目標を達成するために、水産グループはミシシッピ大学の水産学部、農業経済学部、農業および生物工学部、生化学分子生物学部、食品科学工学部など、他学部の教授と頻りに協同研究を行っています。

水産学グループは水産養殖業者のために州内に 2 ヶ所の診療用の研究所を設け、診断分析を行っています。1 つはミシシッピ州デルタのストーンヴィルにある Delta Research and Extension Center で、ブチナマズ養殖の中心地にあります。もう 1 つはミシシッピ東部とアラバマ西部の水産業者には便利な獣医学部にあります。

インターンはストーンヴィルの研究所を活動拠点とし、年間およそ 1500 例の野外診断を行っています。このインターン制度は 1 年間のプログラムで、獣医師は水産業での経験を積むように計画されています。このプログラムでは、クライアントへの助言、精密検査による診断、養魚場や牧場の視察、現在進行している研究する機会があります。インターンは各自で大学から支給される資金によって研究プロジェクトを開始し、研究を行うことが期待されています。インターンには 7 月から翌年の 6 月まで奨学金が支払われますが、毎年契約を更新することができます。奨学金はその他のプログラムでも利用可能となっています。これらのプログラムには疫学、免疫学、微生物学、分子生物学、寄生虫学、病理学、毒物学を研究テーマとしている博士号取得者、従来の修士課程修了者と論文を必要としない選択コースの修士課程修了者も含まれています。審査を受ける奨学金も利用することができます。

水産獣医学のインターンに関する問い合わせは下記で受けつけています。

Dr. Skip Jack 電話 (662)325-1311 ファクス (662)-325-1031

Dr. Lester Khoo 電話 (662)325-3302 ファクス (662)325-2827

分析業務と食品安全研究所(ASFL)

本研究所ではミシシッピ州立大学から依頼される専門的な化学分析を引き受けています。学外の研究機関と獣医学部で行っている研究について相互に有益である時は、このような外部研究機関にも分析結果を提供しています。

ASFL では、連邦政府機関の規定した医薬品安全性試験実施基準(GLPs)に従って依頼された化学分析を行っています。

昨年、ASFL はミシシッピ州立大学の様々な学部から依頼された試料の分析を行い、研究課題や学位論文のためのデータを提出しました。学外からも種々の依頼による試料が持ち込まれますが、この中には環境保護局に登録された農薬に対する GLP 研究も含まれています。最初に行われる分析は、高速液体クロマトグラフィ(HPLC)、ガス-液体クロマトグラフィ(GC)、原子吸光分光分析(AA)、紫外外部-可視分光分析などがあります。これまでの分析例をとして、ナマズ、泥、水に含まれている除草剤のジウロン；池の水や泥の中の chlorpyrifos；飼料、研究用動物、肥料、カリブー体内から検出される金属；マスカットぶどうとバジルの中の resveratrol とエラグ酸；血清中の薬物；低コレステロール卵の脂肪酸分析などがあります。

詳細な情報の問い合わせ先は

Dr. J. Scott Boone (副所長) (662)325-1406 Fax (662)325-1031

獣医学部 P.O.Box 9825, Mississippi State, MS 39762-9825

スタッフの構成

獣医学部には約 65 名の教官が在籍していますが、そのうちの 14 名は研究プログラムのために採用され、責任者として主に研究を行っています。しかし、残りの約 3/4 の教官も何らかの形で研究に関与しています。さらにミシシッピ大学の他の部門、あるいは他の大学や企業が研究プログラムのために採用した 18 名の補助職員がいます。この他に企業からの共同研究者が 1 名参加しています。

動物医療センター

優れた動物看護と教育

動物医療センター(AHC)に所属する教官、職員、学生は、動物にとって最高の健康管理を行うこと、そして動物を看護するのに適切な人材を育成することに全力をそそいでいます。

AHC は多岐にわたる使命を持った教育研究病院で、以下のような活動をしています。

- ・ 博士課程に在籍する学生、博士課程を終了したインターンおよびレジデントに獣医学分野での研究方法と技術を教える。
- ・ 患者のために専門的な診断と治療法を求めている開業獣医師に助言をしたり、紹介され

た患畜の受け入れ先として活動する。

・州内および周辺地域の小動物と大動物のために質の高い健康管理を行う。

最新の設備と高度に訓練されたスタッフ

動物医療センターはミシシッピ大学獣医学部の中で重要な部門となっています。病院には免許を取得した獣医師、あるいは様々な専門分野で資格を得た獣医師が職員として勤務しています。獣医学部の卒業生であるインターンやレジデント、公認の動物看護師は獣医師の助手として働いています。徹底した指導のもとに、獣医学部や動物看護学部在籍している学生も患畜の診断と治療に携わっています。

内科および外科診療

動物医療センターでは診断/野外治療プログラムに加え、日常業務である内科および外科診療と、以下のような病気に対する専門的な診断、治療も行っています。

ガン、呼吸器疾患、心臓病、麻痺、胃腸の病気、整形外科に関する病気、眼に関する病気、新生児の救急治療、繁殖障害、牛などの群の衛生についての問題、感染症、歯の病気

動物医療センターでの診療

調剤、群の衛生管理、放射線学、麻酔学、小動物の内科学、馬の外科および内科、畜産動物の内科と外科、地域診療、小動物の外科、臨床病理学、病理学、微生物学

救急治療および集中治療は年中無休で24時間受け付けています。

動物医療センターにおける馬の内科外科

馬の内科外科では、正規の訓練を受けた専門家による手厚い看護が24時間を通じて常に受けられます。健康管理の専門家がチームを組み、患畜にとって真に必要な医療を提供しています。複雑な外科手術や重篤な病気の管理について最新の訓練を積んだ教官が医療責任者となります。上級の訓練プログラムに在籍しているインターンが、教官の獣医師の助手として補佐にあたります。教官の指導のもとに、獣医学部の3、4年生はカリキュラムの一部として馬の看護に参加しています。免許を取得した動物看護師と動物看護学部の学生が込み入った手術の補助をします。世話係りは、いつでも馬が処方された通りの餌と水を摂ることができるようにし、馬房を清潔に保って病原性細菌がないようにしておく、などを確実に行います。徹底した身体検査が毎日行われ、その後に適切と思われる診断と治療になります。救急医療室の検査技師は、24時間態勢で診断テストを受け付けています。理想に燃え、熱意を持った専門家があらゆる馬のために、できうる限り最高の看護を約束いたします。畜主は自分の馬の病状について、規程に基づいた告知を受けます。

診療の最終目標

本科の最終目標は、馬の飼い主、そして馬の内科や外科疾患の治療にあたる開業獣医師を支援するために、簡単に利用できるサービスを十分に提供することにあります。馬の内科外科で行われる診療には、獣医師と飼い主のための電話情報サービス、定期的な健康管理プログラム、馬の伝染病のための隔離施設、新生馬のための集中治療室、毎日の一般的な診療などがあります。診断業務としては、内視鏡検査、眼科学、放射線学、超音波検査、核医学、臨床病理、組織病理、微生物学、ウイルス学、内分泌学、血清学があります。

馬の内科外科の施設は非常に清潔で、空調設備も整っています。馬が快適に過ごせるように各馬房の床はゴム張りにしてあります。また、安全のために壁にはクッションを入れ、2トン用の巻き上げ装置がついています。その他、手術室が2室、ビデオモニター付きの麻酔室が2室、4つの治療室、装蹄室が1つ、装蹄のためのクッション付き繋ぎ枠が4つ、砂を敷いた場房が1室あります。

実用馬としての寿命の延長

馬のための研究基金を通じて、馬の健康に関して支援することができます。この基金への寄付は馬の生命および馬としての実用性が脅かされるような深刻な病気を研究するために使われています。

善意による寄付は獣医学部にとって大変重要な役割を果たしています。このような寄付は病院のどのような業務にも割り振ることができ、また動物医療センター気付けで寄付をしていただくことができます。

寄付金の送付先

MSU Development Foundation, Inc., c/o Animal Health Center, College of Veterinary Medicine, Box 9825, Mississippi State, MS 39762-9825

動物医療センターにおける小動物外科

ミシシッピ州立大学獣医学部の動物医療センターはイヌ、ネコ、その他の小動物のために幅広い外科診療を行っています。小動物外科ではペットにとって最良の看護を提供することを第一の目的としています。小動物外科では手術を専門に行う常勤の外科医、獣医学部を卒業して訓練中のインターン、学部最後の2年間に行われる実習に参加する学生、外科所属の看護婦、動物看護師、動物看護部学生から構成されています。

清潔で近代的な小動物外科病棟には高度な外科設備が整っており、これらの設備によって最新の外科手術を行うことが可能となりました。最新の外科手術には、骨折の修復、修復的整形外科、脊椎の手術、癌の手術、腹部（胃腸、肝臓、泌尿器）の手術、胸部（心臓、肺）の手術、形成外科および再建術、股関節全置換術などがあります。これ以外に動物医療センターで行われている専門的な処置として、放射線学、麻酔学、内科学、臨床病理、心臓病学、腫瘍学などがあります。これらの分野における専門家のアドバイスを受けることもできますし、ペットにとって最良の医療プランを方向づけるためにチームで取り組んでいきます。

診察の内容

受付では入院に関する資料を用意して、どのような疑問にも丁寧にお答えしています。当センターは教育病院なので、専門課程最後の2年間に在籍している獣医学部の学生がペットの病歴を詳しく聞き取り、身体検査を行います。次に常勤の外科医が飼い主に同様な質問をし、別な身体検査を行います。それから学生と外科医がペットの状態を検討して、必要であれば更に検査をしたり治療をすることを薦めます。このときペットの治療費の概算をお知らせします。専門的かつ徹底した治療を行うために、このような診察が数時間続くことをご了承ください。

診察の予約

当センターに来院するペットの多くは、掛かり付けの獣医師からの紹介によるものです。掛かり付けの獣医師は、ペットの病状について当センターの外科医と話し合ってから診察の予約をとっています。飼い主が診察の予約をとることもできますが、その前に当センターでの診療が必要かどうかを掛かり付けの獣医師に相談されることをお奨めします。

学生による手術

専門課程の学生は医療チームにとって欠くことのできない存在です。学生は常勤の獣医師のアドバイスに従いペットのために多くの治療を行っています。去勢クリニックに連れてこられたペットは、外科医の指導のもとに学生が去勢手術を行っています。学生は別の手術を見学したり助手を務める機会がありますが、当センターで受診したペットは高度に訓練された外科医が手術を担当します。

ペットの手術費用について

獣医学部の小動物外科では、ペットのために質の高い医療を適切な料金で提供しています。手術方法や使用する医療器具の多くは人のための外科手術と同じものを用いていますが、料金はかなり安くなっています。ペットが受ける高度な専門技術と看護に対してもっと高額の治療費の支払いを予想されていたかもしれませんが、料金はかなり安いことにお気づきと思います。どのような治療も、治療費の概算を提示してから行います。

麻酔

動物に対する麻酔は本獣医学部で行われる専門技術の一つです。麻酔医と動物看護師によって安全で十分に管理された麻酔が行われますが、これは獣医学部および動物看護学部の学生にとって大変良い学習のチャンスをとっています。当センターではイヌ、ネコ、ウマ、家畜、外来動物種など全ての動物に最新の麻酔技術と監視装置を用いて麻酔行っております。夜間および週末の緊急手術のために、麻酔医と麻酔技術士が待機しています。麻酔を行う第一の目的はペットに高度な看護を提供すると同時に、将来獣医師や獣医看護師となる学生に麻酔技術を習得させることにあります。ペットの麻酔について何か質問がありましたら、本センターの麻酔医までご連絡ください。連絡先は(662)325-3432です。

善意による寄付は獣医学部にとって非常に大切なものです。このような寄付は病院のどのような業務にも割当てることができ、また動物医療センター気付けで寄付をしていただくことができるからです。

寄付金の送付先

MSU Development Foundation, Inc., c/o Animal Health Center, College of Veterinary Medicine, Box 9825, Mississippi State, MS 39762-9825

動物健康管理センター薬剤部

動物健康管理センター薬剤部は、日常の業務、教育および病院の研究部門として機能しています。当センターの薬剤部はミシシッピ州の薬事委員会から病院内薬局として認可されているので、正規の資格を持った専任の薬剤師と技術スタッフを雇用して薬剤部を運営しています。最上級学年の獣医学部学生、獣医看護学部学生、薬学部学生は臨床実習を薬剤部で終えることとなります。調剤部の業務時間は、平日午前8時から午後5時となっています。時間外、週末および休日の救急診療のために待機することもあります。

動物健康管理センターの薬剤部では病院に入院しているペットと外来のペットのためにサービスを行っています。また、ペットのグルーミングとノミ駆除用の売薬を豊富に取り揃えています。院内で使用する注射薬は、滅菌済みのクリーンベンチで無菌的に調製されます。病院内の薬物治療を日常的に監視することで、臨床関係者に有害な反応が起こる可能性のある薬物や相互作用について注意を喚起しています。薬剤部のもう一つのサービス部門として学習資料センターがあり、多くの文献を持つ図書館とオンラインで結ばれたネットワークコンピュータがあります。当センターの薬剤部はアメリカ国内、カナダ、オーストラリアの獣医大学の薬剤部と電子メールでの連絡が可能となっています。この電子メールによって薬剤師は、全ての獣医大学と最新の薬物情報を同時に交換することができるようになっています。薬剤部では、全米各地で開業しているMSUの卒業生や地方の獣医師を対象にして、薬物に関する情報の案内を行っています。

教育

最上級学年の獣医学部学生と獣医看護学部の学生は、卒業のために薬剤部での臨床実習が必修となります。獣医師と薬剤師との相互協定が認められていることから、薬剤師はミシシッピ大学薬学部の5年生の指導教官も勤めています。臨床実習の間に、学生は正しい投薬法、患畜のための処方箋調剤、薬理学、薬物の在庫管理、規制薬物に対する法規、その他の関連事項を学習します。

研究

薬剤部では薬剤が関与する研究プロジェクトを行っている研究者のために、指定された処方箋の調合や、個々のプロジェクトで使用する薬物量を記録する、などの援助をしています。

薬剤部では薬物に関する知識やその他の質問に喜んでお答えします。薬剤部への電話は下記の2本の直通電話をご利用いただけます。

(662)325-1252 (662)325-1253

更に詳しい情報が必要な場合は電話でお問い合わせ下さい。

善意による寄付は獣医学部にとって大切な役割を果たしています。このような寄付は病院のどのような業務にも割振ることができ、また動物医療センター気付けで寄付をしていただくことができるからです。

寄付金の送付先

MSU Development Foundation, Inc., c/o Animal Health Center, College of Veterinary Medicine, Box 9825, Mississippi State, MS 39762-9825

動物医療センターについてのよくある質問

どのように予約をするのでしょうか？

ミシシッピ州立大学から 150 マイル以内にお住まいの方は、動物医療センターでの初期医療を受けることができます。診察の予約は月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時までの間に、当センターの入院窓口にて電話で受付けております。電話番号は(662)325-1351 です。救急の場合は(662)-325-3432 におかけ下さい

すでに掛かり付けの獣医師がいるときはどうなるのでしょうか？

当センターの患畜の多くは、深刻なケガや病気に対する診断と治療方法を求めて、開業獣医師から紹介されて来院しています。すでに掛かり付けの獣医師がいる時は、獣医師のアドバイスに従って予約をして下さい。

費用はどのくらいかかるのでしょうか？

動物医療センターでは、州政府からの運営予算を診療費と善意による寄付で補っています。一般的な通院と診療については、開業獣医師による診療費と同等か多少高い程度です。総合検査、治療、手術などはかなり高額になると思われます。入院する場合は、保証金が必要になります。退院時に全額をお支払いいただいています。現金、小切手、大手クレジット会社のカードによる支払いが可能となっています。

動物医療センターへはどうやって行くのでしょうか？

獣医学部はミシシッピ大学キャンパスの南端にあります。駐車場は受付入り口から病院内まで利用できます。

コンパニオン・アニマル基金(Fund for Companion Animals Require Excellence, CARE)

犬がいなければ、幸福はありえない...。 Elizabeth Marshall Thomas

獣医師は動物を看護し、動物の生活の質を改善することに情熱を注いでいます。獣医師は人とコンパニオン・アニマルの絆の強さをよく理解しており、コンパニオン・アニマルが家族の一員であるということを知っています。

家庭で飼われている動物は、飼い主が幸せな生活を与えてくれることを信じています。動物は餌や住む場所について心配することはありません。こうした動物たちはどのような時でも飼い主とともにいてくれるのですから。動物が病気になったりケガをした時は、獣医師と飼い主は動物を助けるためにできることは全てしたいと願っています。

コンパニオン・アニマルが死ぬことは、家族の一員を失うことと同じです。細心の注意を払っても動物を救えるとは限らないということを、私たちは動物の死によって気づかされるのです。過去 25 年間の目に見える進歩にもかかわらず、獣医学の分野には動物から学び、教わり、実践すべきことがまだまだたくさん残っていると言えます。

ミシシッピ州立大学獣医学部のコンパニオン・アニマル基金(CARE)は、獣医学の分野における教育、研究、診療のたゆまぬ進歩を望む声に応えて 1989 年に設立されました。